

Part D: Grammar learning strategies

D.1. Making a list of strategies

目的:

文法習得において必要なストラテジーを考える。

教材 :

SILLの日本語版

時間 : 15 分

手順 :

- 1 . クラス全員でインタビューし合う。各クラスメートに苦手だと思っている文法項目をきき、その項目の何が難しいのか、聞いてメモをする。
- 2 . 3、4人のグループになって結果を話し合う。
- 3 . それぞれの文法項目を使えるようになるためには、どんなことをすればいいか、SILLの日本語版を見ながら、ストラテジーリストを作成する。
- 4 . 文法項目を知っていても、会話や作文では上手に使えないことがあるが、上手に使えるようになるためにはどうすればいいか、相談して、ストラテジーリストに加える。ストラテジーリストを発表する。
- 5 . ペアになって、自分達がどのストラテジーを使っているかどれをあまり使っていないか、チェックして、使っていないものにチェックマークをつける。

D.2. Inferring patterns

目的:

例文やデータから規則性を推測するストラテジーの練習。

教材 :

依頼表現が書いてあるカード、カードの表現にある状況をロールプレイしたビデオ

時間 : 20分

手順 :

「お願いする時の表現」を使って。

1. 下の各文が使われる状況をロールプレイしたモデルを作成し、ビデオにする。

下の文を書いたカードを各グループに配付する。グループで、カジュアルなものからていねいな言い方の順番にカードを並べさせる。次にロールプレイのビデオを見せて、書く表現のていねいさを再度チェックし、並べかえる。

カード例 :

作文、読んで。

作文（を）読んでくれる？ 作文（を）読んでもらえる？

作文（を）読んでくれない？ 作文（を）読んでもらえない？

作文を読んでもらいたいんだけど。

作文を読んでくれませんか。 作文を読んでもらえませんか。

作文を読んでもらいたいんですが。

作文を読んで下さいませんか。 作文を読んでいただけませんか。

作文を読んでいただきたいんですが。

作文を読んでいただけないでしょうか。

作文を読んでいただけませんでしょうか。

2. 並べた後、丁寧さを表わす規則を考えさせる。（肯定形否定形, indirect expression のつかい方「～んですが。」、質問の形「～でしょうか／causative もらう」の使い方など。）
3. 次に下のようなことなる例でそれぞれの表現を使う状況を考えさせる。この時、話者、聞き手、状況などを考えさせる。状況ができたらロールプレーカードをみんなで作る。

例文 :

今日は休んでもいい？

今日は休んでもいいですか。

今日は休んでもよろしいですか。

今日は休んでもよろしいでしょうか。

今日は休ませてくれませんか。 今日は休ませてもらえませんか。

今日は休ませてくださいませんか。 今日は休ませていただけませんか。

今日は休ませていただきたいんですが。
今日は休ませていただけないでしょうか。
今日は休ませていただけませんでしょうか。

4. 学生をペアにし、各ペアに依頼表現を書いた紙を与える。ペアでその依頼表現が使える状況を考えさせロープレーカードを作らせる。

例文：

明日また来てもいい？
電話番号を教えていただけないでしょうか。
たばこをすってもよろしいですか。
その本を貸してくれませんか。
手紙を書いて。
明日おいでいただけませんでしょうか。

5. ロールプレイカードを他のグループと交換し、他からもらったカードをもとにロールプレイをする。カードを書いたグループは依頼表現が正しく使っているかどうかチェックする。

D.3. Deductive reasoning

目的:

Deductionを使って、文法構造を分析する。

時間：15分

手順：

- 1 . stative verb, continuative verbs , instantaneous verb, accomplishment verb, Type 4 verbs など、日本語の動詞の意味による分類を確認した後、学生を3、4人のグループにし、各グループに動詞のリストを与える、動詞の分類分けをさせる。

参照：

Verbal Classification in Japanese (Kindaichi 1976)

	Stative 状態動詞 'aru'	Continuutive 継続動詞 'yomu'	Instantaneous 瞬間動詞 'sinu'	Type 4 形容詞的動詞 'niru'
'-teiru'	-	+	+	+
Progressive	-	+	-	-
Perfective	-	-	+	-
Adjectival (always -teiru)	-	-	-	+

- 2 . 「～ている」表現の動作の継続 (progressive)状態の継続(resultant state)、形容詞的用法、習慣(habitual action)、経験(experience, 例：この本はもう何度も呼んでいる) の使い方の確認をした後、各グループに動詞リストにある動詞と「～ている」表現を使ってできるだけたくさん文を作らせ、「～ている」表現の意味をチェックする。
- 3 . 別のグループの人とあらたにグループを作る。各グループで元の自分のグループで作った文を持ち寄り「～ている」表現の使い方を確認する」

D.4. Contrasting and assessing similarities

目的:

類似表現をコンテクストや例文を使って分析し、使い方を分析する。

教材 :

ハンドアウト（文のリスト、コンテクストは配らずターゲットだけカードにする）

時間：15分

手順：

1. 3、4人のグループを作り、グループにターゲットの文が書かれたカードを一組配布する。教師がそれぞれのコンテクストを表す文を読み、それにあうコンテクストの文を学生に選ばせる。答えを確認し、受け身と「～てもらう」表現の使い方の比較を行う。

例：

- 1 ルームメートが大きい音で音楽を聞くので→毎朝、ルームメートに起こされる。
- 2 今学期クラスが朝早いので、→毎朝、ルームメートに起こしてもらう。
- 3 あ、私のケーキがない！→ルームメートにケーキを食べられた。
- 4 パーティの後、ケーキがたくさん残ったので、→ともだちにケーキを食べてもらった。
- 5 ニューヨークは晴れていたが、シカゴでは→雨がふった
- 6 公園を散歩していたら、急に→雨にふられた。
- 7 誰が田中さんの足をふみましたか。→ブラウンさんがふみました。
- 8 痛い！→ブラウンさんに足をふまれました。

ターゲットカード（

[表]

- 1 毎朝、ルームメートに起こされる。
- 2 每朝、ルームメートに起こしてもらう。
- 3 ルームメートにケーキを食べられた。
- 4 ルームメートにケーキを食べてもらった。
- 5 雨がふった。
- 6 雨にふられた。
- 7 ブラウンさんが足をふんだ。
- 8 ブラウンさんに足をふまれた。

2. ペアか3、4人のグループになって、意味が似ていて使い方が分かりにくい表現を一つ選ぶ。使い方が分かるように例文のセットを作る。作ったものをクラスで発表し、他の学生が使い方が分かるか確認する。

Handout: Passive and ~てもらう

context

ルームメートが大きい音で音楽を聞くので

今学期クラスが朝早いので、

あ、私のケーキがない！

パーティの後、ケーキがたくさん残ったので、

ニューヨークは晴れていたが、シカゴでは

公園をさんぽしていたら、急に

だれが田中さんの足をふみましたか。

いたい！

target sentences

毎朝、ルームメートに起こされる。

毎朝、ルームメートに起こしてもらう。

山田さんにケーキを食べられた。

山田さんにケーキを食べてもらった。

雨がふった

雨にふられた。

ハリスさんがふみました。

ハリスさんに足をふまれました。

D.5. Analyzing long sentences and combining phrases

目的:

日本語の特徴である長文の構造を分析するストラテジー

教材 :

ハンドアウト (Extended modification scope, 単文のカードのセット)

参考文献 : Makino, S. and Y. Hatasa (1988). *Kakudai bunsetsu no ninchi*. Tokyo: Aratake Shuppan.

時間 : 20 分

手順 :

1. Extended modification scope

- 1.1 下のような簡単な例文を用い、四角に囲まれた名詞の修飾部にアンダーラインを引く練習をする。その後、ハンドアウトの長文問題や Makino & Hatasa の練習問題にある長文を使って、四角に囲まれた名詞の修飾部をさがさせる。この時、トピックの「は」が関係節から外れることや従属説では主格の「が」が使われることなどにも注意させる。

例文 :

あそこでコーヒーを飲んでいる人はだれですか。

私は日本語のクラスで今日出さなければいけない宿題を家に忘れた。

私は来年大学を卒業する予定です。

週末、『たんぽぽ』という映画を見ました。

今日、友達から来月結婚するという手紙がきました。

2. Sentence combining

- 2.1 3、4人のグループにわけ、下のような文を単文にしたカード（下記参照）を各グループに配りそれを使って、長い文を作らせるようとする。（文に関しては ending に conjunction を付けたりフォームを変えたりして、文をつなげるよう指示する。まず、ひとつ短い文を使って、Tが例を見せる。）

例文

毎日ファーストフードを食べていた

一年後にはとうとう10キロもふとってしまった

それからはファーストフードを食べるのをやめた

食べれば食べるほど体にどんどん肉がついた

アメリカに来て最初のころだ。

週に三回はジョギングをすることにした

アメリカに来て最初のころ／毎日ファーストフードを食べていたが／、食べれば食べるほど体にどんどん肉がついて／、一年後にはとうとう10キロもふとってしまったので／、それからはファーストフードを食べるのをやめて／、週に三回はジョギングすることにした。

私はすぐ道に迷う方で／、一度ニューヨークで美術館に行こうと思って／地下鉄に乗ったが／、どこでおりればいいかわからなくなって／とうとうハーレムの辺りまで行ってしまったことがあるので／、それから道に迷ったら／すぐ人に聞くことにしてるいる。(すぐ=easily, とうとう=at last)

一年前、キーをしに車でカナダのエドモントンという町に行った時／途中、大雪で車が三時間も動けなかつたことがあったが、／冬に旅行する時はいつもブランケットとチョコレートをたくさん持っていくことにしていたので、／助かった。

2.2 各グループに作った文を発表させて、できるだけ一文の中にたくさんのカードを使って、長い文を作れたグループが勝ち。

Handout: Extended modification scope

1. 今日出すはずの宿題は友だちに手伝ってもらってやっと終わった宿題だったのに、家に忘れてしまった。
2. 私の友達のフランス人によると大川先生のフランス語はとてもきれいで日本人が話しているとは思えないほど上手なフランス語だそうです。
3. その変な動物を見たことがあると言っていた男に会ってみたいと言ったのは夕子だった。
4. 先日横浜で仕事があったので、ひさしぶりに私が大学生の時学校帰りによく行った喫茶店に行ってみたが、そこはもうなくなっていていた。
5. 私にとってはとくに近くもないし、大学を卒業してから一度も会っていなかった友達がとつぜん今度の五月に結婚するので来てほしいという電子メールを送ってきたので、驚いた。

1. 今日出すはずの宿題は友だちに手伝ってもらってやっと終わった宿題だったのに、家に忘れてしまった。
2. 私の友達のフランス人によると大川先生のフランス語はとてもきれいで日本人が話しているとは思えないほど上手なフランス語だそうです。
3. その変な動物を見たことがあると言っていた男に会ってみたいと言ったのは夕子だった。
4. 先日横浜で仕事があったので、ひさしぶりに私が大学生の時学校帰りによく行った喫茶店に行ってみたが、そこはもうなくなっていていた。
5. 私にとってはとくに近くもないし、大学を卒業してから一度も会っていなかった友達がとつぜん今度の五月に結婚するので来てほしいという電子メールを送ってきたので、驚いた。

Handout: Sentences for sentence combining exercises

毎日ファーストフードを食べていた

一年後にはとうとう10キロもふとってしまった

それからはファーストフードを食べるのをやめた

食べれば食べるほど体にどんどん肉がついた

アメリカに来て最初のころだ。

週に三回はジョギングをすることにした

車でカナダのエドモントンという町に行った

大雪で車が三時間も動けなかった

ブランケットを持っていくことにしていました

助かった

私はすぐ道に迷う方だ

ニューヨークで美術館に行こうと思った

地下鉄に乗った

どこでおりればいいかわからなくなつた

とうとうハーレムの辺りまで行ってしまった

道に迷つたらすぐ人に聞くことにしてゐる

D.6. Applying grammar in novel situations

目的:

既習の文法項目をいろいろな状況でどのように使うか考えさせ使うように促す。

教材 :

既習の文法項目のリスト、ロールプレイカード

時間 : 20分

手順 :

- 1 . 既習の文法項目のリストを見せて、それぞれ文をいくつか作らせて、意味と機能の確認。
- 2 . 学生をペアにし、各ペアにロールプレイカードをいくつかわたす。ロールプレイを読ませ、使える文法項目をリストさせる。
- 3 . 文法項目を使ってスキットを作らせ、ロールプレイをさせる。その間、他の学生は使っている文法の数、正確さを文法項目のリストを身ながらチェックしていき、後でフィードバックを与える。